

平成29年度 事業活動報告

1 事業の成果

29年度、当NPO法人は、「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」として、東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」の対象研究の選定、推進支援、成果報告企画を行うとともに、児童参加型エネルギー学習ワークショップや大人向けサイエンス講座を企画・実施した。関連してTOKAI原子力サイエンスフォーラムの企画と実施支援も行った。

「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」として、日本原子力発電株式会社東海発電所廃止措置および東海第二発電所の安全対策を視察し、確認した安全対策や課題をまとめ、村民への広報資料を作成した。また、日本原子力文化財団の学習の機会提供事業に応募し、六ヶ所再処理施設を見学した。

「科学技術リスクに係るリテラシー養成事業」では、福島の実状を学ぶためのワンコイン講座、大人向けサイエンス講座「放射線を利用したガン治療の最前線」を実施するとともに、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する講演会を開催し、村民が科学技術リテラシーを高める機会を提供した。

「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」では、上述した東海発電所・東海第二発電所に関する情報や、六ヶ所再処理施設と幌延深地層研究所の情報をまとめた広報誌を発行するとともに、ホームページでの情報発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業	社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託	28/04/01 ～ 29/03/31	東海村	1名	東海村および周辺市町村の住民	2,501
安全及び環境の保全に係わる施設・活動の視察および改善提言の事業	東海発電所・東海第二発電所の視察	29/06/19	東海村	13名	東海村および全国の関心者	0
	六ヶ所再処理施設の見学	29/10/03-4	青森県六ヶ所村	10名		369
科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業	ワンコイン講座	29/05/10	東海村	10名	東海村及び周辺市町村の関心者	22
	サイエンス講座	29/10/28		12名		0
	高レベル放射性廃棄物処分の講演会	30/01/18		26名		0
リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業	ウェブサイトの運用	29/04～ 30/03	千葉県	1名	全国の関心者	13
	広報誌の発行	29/10/30 30/01/10	東海村	10名	東海村および周辺市町村住民、全国の関心者	517

3 事業の詳細

(1)行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業

東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり委託業務」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」のための選考委員会を設置し、支援対象研究を決定するとともに、採択者が所属する大学との契約手続き、12月の進捗報告会の実施、2月の成果報告会の企画立案を行った。平成29年7月21日にはNPO法人いわきおてんとSUN組合の協力を得て、小学5～6年生29名を対象に手作りソーラーパネル製作ワークショップを行った。また、筑波大学の協力を得て、大人向けサイエンス講座を企画・実施した。関連してTOKAI原子力サイエンスフォーラムの企画を立案し、平成30年2月18日にフォーラムを実施した。以上の活動と課題をまとめた実施報告書を村へ提出した。

(2)安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業

平成29年6月19日、日本原子力発電株式会社の東海発電所廃止措置と東海第二発電所の安全対策について視察活動を行い、継続的な安全対策の実施と村民への情報提供に関する提言を行った。また、日本原子力文化財団の学習の機会提供事業に応募し、再処理事業およびガラス固化処理について、9月28日に事前勉強会、10月3～4日に現地見学会を実施した。

(3)科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業

平成29年5月10日、元東京電力社員で福島第一原発での勤務経験のある吉川彰浩さんを招き、福島の現状を学ぶワンコイン講座を開催した。平成29年10月28日には、筑波大学の協力を得て、「放射線を利用したガン治療の最前線」と題した講演会を実施し、東海村で開発が進められているBNCTをはじめ、放射線治療の情報提供を行った。また、平成30年1月18日には、原子力環境整備機構の協力の下、高レベル放射性廃棄物処分に関する講演会を開催し、周辺市町村を含めた26名が参加、活発な質疑応答が行われた。

(4)リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業

上述した東海発電所および東海第二発電所への視察活動は、広報誌「しーきゅうぶ東海村」第20号に、六ヶ所再処理施設と幌延深地層研究所（平成28年12月実施）の状況は第21号にまとめ、村民および周辺住民へ情報提供を行った。また、ホームページを用いて、広く情報発信を行った。

(5)その他

<理事会>

第15回 29年5月13日 東海村産業・情報プラザ 1階 会議室

平成28年度事業報告、決算報告、平成29年度事業計画、予算案、定款変更について説明し、今後の活動計画について議論した。理事会終了後、引き続き総会を行った。

<臨時総会>

第1回 29年8月22日 東海村 村民活動センター 2階 会議室

5月13日の通常総会で理事の改選が承認されたものの、年度期間変更に伴い、登記手続きができなかったため、改めて臨時総会で理事を選任する手続きを行った。

NPO法人HSEリスク・シーキューブ 平成29年度 活動記録

29年度	行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業	安全及び環境の保全に係わる施設・活動の視察および改善提言の事業	科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業	リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業
4月	東海村社会科学研究所の公募を開始			HPの運用継続
5月	選考委員会で採択研究を決定		10日ワンコイン講座「福島第一原子力発電所の現実を知ろう！」	
6月	研究支援事業に関して関東学院大学と契約	19日 東海発電所の廃止措置と東海第二発電所の安全対策の視察を実施		
7月	企画：手作りソーラーワークショップ 環境フェスタで情報発信			
8月				
9月	研究支援事業に関して関西大学と契約	六ヶ所見学の事前勉強会を実施		
10月		3-4日 六ヶ所再処理施設を見学	28日 サイエンス講座「放射線を利用したガン治療の最前線」を実施	広報誌第20号を発行
11月				
12月	19日 進捗報告会を実施			
1月			18日 高レベル放射性廃棄物処分に関する講演会を実施	広報誌第21号を発行
2月	18日 TOKAI 原子力サイエンスフォーラム実施（企画）			
3月	受託事業報告書を村へ提出 東海村よりまちづくりに関する事業を受託・契約			▼

以上のほか、会員有志による活動として以下を行った。

平成29年7月22日（土）あすかエネルギーフォーラムとのワークショップ